



2023年4月7日

各位

会社名 : 株式会社寺岡製作所
 代表社名 : 代表取締役社長 辻賢一
 (コード: 4987 東証スタンダード)
 問合せ先 : 取締役 企画管理本部本部長
 石崎修久 (03-3491-1141)

減損損失の計上及び業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、2023年3月期において、減損損失を計上する見込となったこと、また、最近迄の業績動向等を踏まえ、2022年10月21日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の連結業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 減損損失の計上について

当社グループにおいて今後の成長に向けて、潜在的なリスクを先送りせず、将来の事業計画を保守的かつ慎重に検討いたしました。この結果、連結子会社であるPT.TERAOKA SEISAKUSHO INDONESIAの固定資産について帳簿価格を回収することは困難との結論に至り、2023年3月期連結会計年度において固定資産の減損損失を特別損失として2,418百万円を計上する見込となりました。

なお、当社は、個別決算において当社が保有するPT.TERAOKA SEISAKUSHO INDONESIA株式の減損損失3,724百万円及び同社への貸付金に対する貸倒引当金繰入3,004百万円、合わせて6,728百万円を特別損失として計上する見込ですが、連結決算上消去されるため、連結決算に与える影響はありません。

2. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 22,200	百万円 100	百万円 350	百万円 400	円 銭 15 79
今回修正予想(B)	19,400	△1,850	△1,500	△3,600	△142 11
増減額(B-A)	△2,800	△1,950	△1,850	△4,000	—
増減率(%)	△12.6	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	22,515	134	370	162	6 8

(2) 業績予想の修正の理由

売上高につきましては、販売主要マーケットのひとつである中国市場の需要が年明けには更に悪化し、大幅に減少する見込となりました。また、利益面では、値上げによる採算改善及び経費削減を行ったものの、円安やそれに伴う原材料及び燃料価格がさらに高騰したことに加えて、第4四半期会計期間にバランスシートを正常化するため長期不動産在庫の処分を行ったこと等により、前回予想を大幅に減少する見込みとなりました。

上記1.減損損失の計上を踏まえ、2023年3月期の連結業績予想を修正いたします。

(ご参考)各相場における期初想定と実勢の比較

	期初想定	2022年9月実勢	2023年3月実勢
為替レート(USD/円)	114円	144円	133円
ナフサ価格	58,000円 (/KL)	期初比:約4割アップ	期初比:約2割アップ
天然ガス価格	13USD (/mmbtu)	期初比:約7割アップ	期初比:約5割アップ

3. 配当予想の修正

(1)修正の内容

基準日	年間配当金(円)		
	第2四半期	期末	合計
前回予想	—	5円00銭	8円00銭
今回修正予想	—	未定	未定
当期実績	3円00銭		
前期実績 (2022年3月期)	5円00銭	5円00銭	10円00銭

(2)修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を最も重要な経営課題の一つとして認識しており、経営成績や今後の事業戦略等を総合的に勘案しながら、安定配当に配慮しつつも一定程度の柔軟性を確保することを基本方針としております。

期末配当予想につきましては、減損損失の計上および業績下方修正を踏まえ、再検討させていただきます。

(注) 上記の減損損失の計上見込を含む予想数値は、当社が現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上